

すぎたに たいぞう アートコーポレーションは杉谷泰造選手の 世界への挑戦を全面的にサポートしています!

当社は、絶え間ない努力を続け、乗馬の発展に尽くしたいと考える杉谷選手の姿勢に共感するとともに、スポーツとしての馬術競技を多くの人に知ってもらいたいとの思いから、2017年より杉谷選手と所属契約を締結しました。今後も、2020年の東京オリンピック、さらには世界の頂点を目指し、チャレンジを続ける杉谷選手を全面的にサポートしていきます。

2019年12月「第1回FEIアジア選手権」で 金メダルを獲得しました!

国際馬術連盟（FEI）が開催し、アジアの頂点を決める「第1回FEIアジア選手権」に、杉谷泰造選手と当社が所有する競技馬「ヒロイン・デ・ミューズ」のコンビが、障害馬術個人競技に参加しました。三次予選をトップで通過し、決勝ラウンドへと駒を進め、2回の競技走行をミス無しで終え、見事、アジアの頂点に立ちました。

■杉谷泰造選手プロフィール

1976年6月27日生まれ / 大阪府和泉市出身

祖父・川口宏一、父・杉谷昌保と三代続けてオリンピック・馬術競技日本表。

6歳で馬術競技を始め、ジュニア選手権優勝、国体優勝、そして全日本選手権制覇など、国内トップクラスの大会で数々の入賞を果たし、17歳で渡欧。オランダの元チャンピオンライダー Henk Nooren（ヘンク・ノーレン）氏に師事し、活躍の舞台を国際大会に移す。

1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロと、馬術競技日本代表選手として6大会連続オリンピック出場の日本記録を樹立。

2000年にラスベガスで行われた、ワールドカップ・ファイナルでは、日本人最高位記録となる15位、さらに2010年の世界選手権ケンタッキー大会では世界のトップ10に入り、その実力を証明した。

現在は日本とドイツを往復しながら、世界最高峰の大会を中心に転戦を続けている。



当社が所有する競技馬 「ヒロイン・デ・ミューズ」の プロフィール



2007年8月9日生。ベルギー・BWPの牝馬。父・Tinka's Boy（ティンカスボーイ）、母の父・For Pleasure（フォープレジャー）のどちらもオリンピックでメダルを獲得し、スタリオンとしても活躍を続ける良血馬。真面目な性格と注意力で障害物を落とさず、大一番では高い集中力を発揮します。